

## 受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

「米国ライフライン好利回り債券ファンド（為替ヘッジなし・早期償還条項付）2015-07」は、このたび第17期の決算を行いました。当ファンドは米国のライフライン関連企業が発行する米ドル建の好利回り債券を主要投資対象とし、安定的な収益の確保を図りつつ、中長期的に信託財産の着実な成長を目指します。また、外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。当作成対象期間もこれに沿った運用を行いました。ここに、その運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

## 当作成期の状況

基準価額（当作成期末）	9,301円
純資産総額（当作成期末）	4,394百万円
騰落率（当作成期）	△0.1%
分配金合計（当作成期）	90円

（注）騰落率は収益分配金（税込み）を再投資したものとみなして計算しています。

当ファンドは、信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。右記＜お問い合わせ先＞ホームページの「基準価額一覧」または「ファンド一覧」から当ファンドのファンド名称を選択することにより、当ファンドのページにおいて運用報告書（全体版）を閲覧およびダウンロードすることができます。運用報告書（全体版）は、受益者のご請求により交付されます。運用報告書（全体版）をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

# 交付運用報告書

## 米国ライフライン 好利回り債券ファンド （為替ヘッジなし・早期償還条項付）

### 2015-07

### <愛称：要>

単位型投信／海外／債券

第9作成期

（2019年5月21日～2019年11月20日）

第16期（決算日：2019年8月20日）

第17期（決算日：2019年11月20日）



パインブリッジ・インベストメンツ株式会社  
〒100-6813 東京都千代田区大手町一丁目3番1号 J Aビル

お問い合わせ先・・・投資信託担当

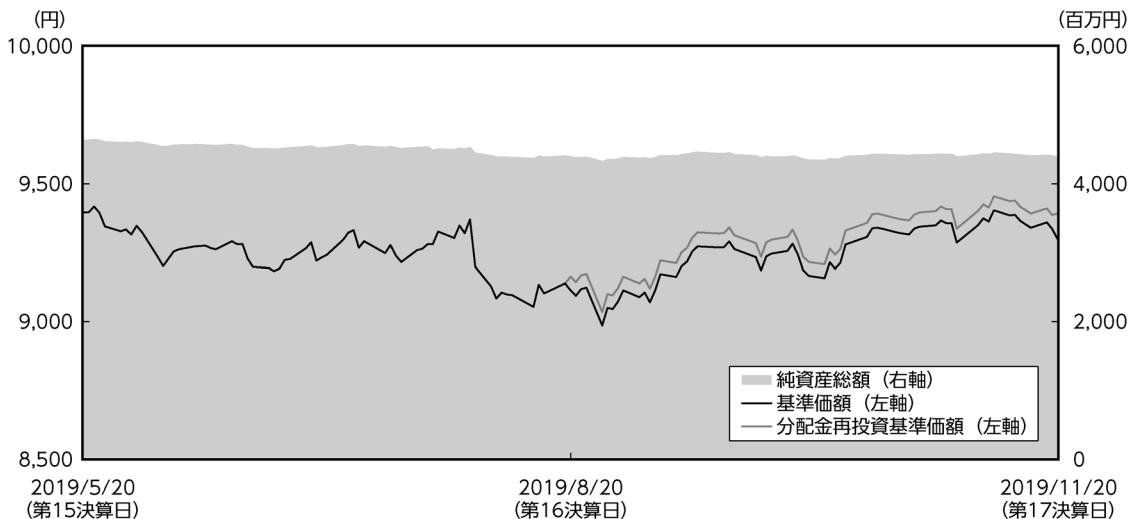
電話番号／03-5208-5858

（受付時間／9：00～17：00（土、日、祝休日を除く））

ホームページ／<https://www.pinebridge.co.jp/>

## 運用経過 (2019年5月21日～2019年11月20日)

### 基準価額等の推移



第16期首 : 9,397円

第17期末 : 9,301円

(作成対象期間中の既払分配金 : 90円)

騰落率 :  $\Delta 0.1\%$  (分配金再投資ベース)

※分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首の基準価額をもとに指数化しています。

※当ファンドは単位型投信ですので実際には分配金を再投資することはできません。また、課税条件等を考慮しておりませんので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

### 基準価額の主な変動要因

当ファンド保有の米国好利回り債券からのインカム収入が主なプラス要因となりましたが、保有債券の価格が下落したことや、為替市場において円高米ドル安となったことがマイナス要因となり、当作成期間の基準価額は下落しました。

## 1万口当たりの費用明細

項目	第16期～第17期 (2019.5.21～2019.11.20)		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	63円	0.680%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は9,266円です。
(投信会社)	(31)	(0.332)	委託した資金の運用、交付運用報告書等の作成、ファンドの監査等の対価
(販売会社)	(31)	(0.332)	交付運用報告書各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(2)	(0.017)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
その他費用	1	0.005	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(保管費用)	(0)	(0.005)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転に要する費用
(その他)	(0)	(0.000)	
合計	64円	0.685%	

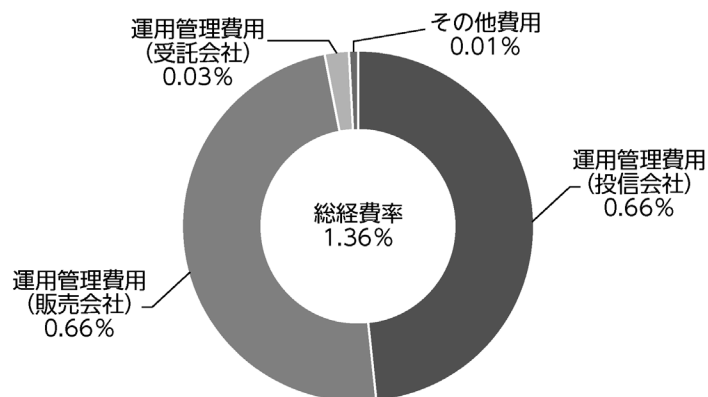
※期中の費用（消費税がかかるものは消費税を含む）は解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。また、各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

※比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

※消費税は報告日の税率を採用しています。

## ＜参考情報＞総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除きます。）を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.36%です。



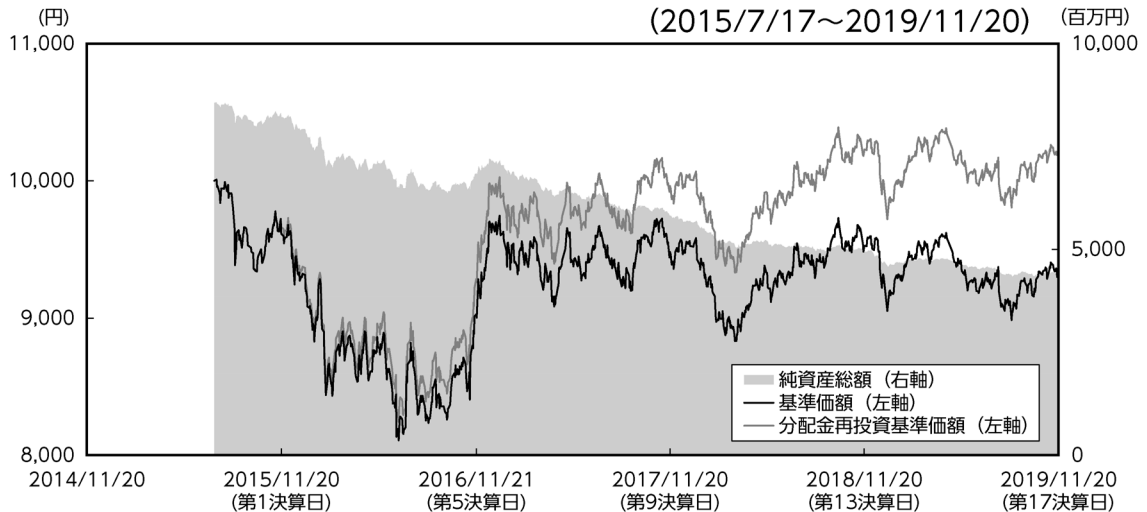
※費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

※各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

※各比率は、年率換算した値です。

※上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## 最近5年間の基準価額等の推移



※分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※当ファンドは単位型投信ですので実際には分配金を再投資することはできません。また、課税条件等を考慮しておりませんので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

※当ファンドは、適切に比較できる指数がないため、ベンチマーク等はありません。

※当ファンドは、設定日から5年間経っていませんので、設定来の推移を表示しています。

		2015/11/20 決算日	2016/11/21 決算日	2017/11/20 決算日	2018/11/20 決算日	2019/11/20 決算日
基準価額	(円)	9,612	9,027	9,440	9,483	9,301
期間分配金合計（税込み）	(円)	50	200	200	200	190
分配金再投資基準価額の騰落率	(%)	△3.4	△3.9	6.8	2.6	0.1
純資産総額	(百万円)	8,213	6,838	5,797	4,915	4,394

※2015/11/20決算日の騰落率は、設定日との比較を表示しています。

## 投資環境について

当作成期の米国好利回り債券市場（米ドルベース）は上昇しました。作成期首は、トランプ米大統領のメキシコへの関税強化を巡る発言によりリスク回避の動きが強まったことなどから下落しました。その後、8月までは概ね堅調に推移しましたが、トランプ米大統領が中国への追加関税を発表したことで再度市場心理が悪化、一時的に軟調な動きとなりました。しかし、作成期末にかけては、米国をはじめとした各国中央銀行による緩和期待や、世界的な貿易政策に対する楽観的な見方が広がったことで上昇が継続しました。

当作成期の為替市場は小幅に円高米ドル安となりました。8月に米中貿易交渉を巡る不透明感の高まりを背景としたリスク回避の動きにより円高が急激に進行したものの、相対的に堅調な米国経済や米国金利の上昇などを背景に作成期末にかけては、円の上昇幅は縮小しました。

## ポートフォリオについて

当ファンドは、米国のライフライン関連企業が発行する米ドル建の好利回り債券に投資し、安定的な収益の確保を図りつつ、中長期的に信託財産の着実な成長を目指し運用を行いました。

投資対象としては、主に、通信、一般消費財、生活必需品、運輸などに業種区分される銘柄に投資しました。

作成期末時点のポートフォリオは、発行体の分散化を図りながら、相対的に利回りが高い一方でファンダメンタルズも良好であり投資妙味があると判断した好利回り債券で構成されています。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは、ベンチマーク等はありません。

## 分配金について

当作成期の収益分配金につきましては、基準価額水準と市況動向を勘案して第16期50円、第17期40円（元本1万口当たり課税前）とさせていただきます。なお、分配に充てなかった収益につきましては、信託財産中に留保し、元本部分と同一の運用を行うことといたします。

## 今後の市況見通しと運用方針

### 今後の市況見通し

2019年7-9月期の決算発表の内容は、全般的に収益環境が鈍化しました。ファンダメンタルズは堅調なもの、引き続き、相対的に格付けが高い債券が選好されると見ています。収益状況の鈍化という基本シナリオを前提とすると、バリュエーションは縮小か適正水準となると見ており、信用スプレッド（国債への上乗せ金利）はレンジ内で推移すると見ています。また、需給面では変動が大きくなる可能性があるものの、企業収益とマクロ経済に対し希望の光を持ち続けている投資家がいる限り下支えされると予想しています。基本的には、ポートフォリオの資本構造を上げより高い現金比率を維持するなど、リスクを調整しつつ、本源的価値からかい離している銘柄を見逃すことのないよう、慎重に運用を行う方針です。

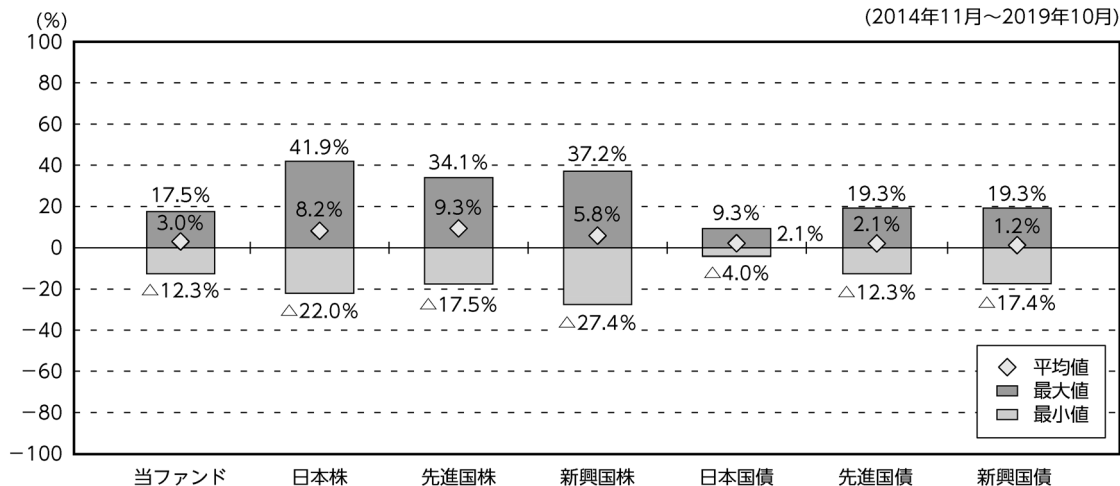
### 運用方針

主として米国のライフライン関連企業が発行する米ドル建の好利回り債券に投資し、投資対象発行体のファンダメンタルズや信用力については注視しながら、安定的な収益の確保と中長期的な信託財産の着実な成長を目指して運用を行っていきます。

## 当ファンドの概要

商品分類	単字型投信／海外／債券
信託期間	2015年7月17日から2020年7月21日まで
運用方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・米国のライフライン関連企業が発行する米ドル建の好利回り債券を主要投資対象とします。</li> <li>・投資する債券は、当ファンドの信託期間終了前に満期を迎える債券に限ります。</li> <li>・基準価額（支払済の収益分配金を含みません）が12,000円以上となった場合には、保有している好利回り債券を売却し安定運用に切り替え、速やかに償還します。</li> <li>・外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</li> <li>・債券の運用にあたっては、パインブリッジ・インベストメンツ・エルエルシーに外貨建資産の運用の指図に関する権限を委託します。</li> </ul>
主要投資対象	米国のライフライン関連企業が発行する米ドル建の好利回り債券を主要投資対象とします。
運用方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・株式への投資は、転換社債の転換請求、ならびに転換社債型新株予約権付社債の新株予約権の行使により取得するものに限り、投資割合は信託財産の純資産総額の10%以下とします。</li> <li>・外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。</li> </ul>
分配方針	毎年2、5、8、11月の各20日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、収益分配方針に基づいて分配を行います。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。

## ＜参考情報＞代表的な資産クラスとの騰落率の比較



※すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

※上記グラフは、2014年11月～2019年10月の5年間ににおける1年騰落率の平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。なお、当ファンドは2015年7月17日設定のため、2016年7月から2019年10月までの平均値・最大値・最小値を表示しています。

※上記の騰落率は直近月末から60ヵ月遡った算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

※当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

### ●各資産クラスの指数

日本株：東証株価指数（TOPIX）配当込み

先進国株：MSCIコクサイ・インデックス（配当込み・円ベース）

新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み・円ベース）

日本国債：NOMURA-BPI国債

先進国債：FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）

新興国債：JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド（ヘッジなし・円ベース）

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

東証株価指数（TOPIX）配当込みは、株式会社東京証券取引所の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利は、株式会社東京証券取引所が有しています。

MSCIコクサイ・インデックス（配当込み・円ベース）およびMSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み・円ベース）は、MSCI Inc.が開発した指数で、同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

NOMURA-BPI国債は、野村證券株式会社が作成している指数で、同指数に関する知的財産権その他一切の権利は、野村證券株式会社に帰属しています。また、野村證券株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負うものではありません。

FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより算出および公表されている債券指数であり、同指数に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド（ヘッジなし・円ベース）は、J.P. Morgan Securities LLCが算出・公表する指数で、同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。

## ファンドデータ

### 当ファンドの組入資産の内容 (2019年11月20日現在)

#### ●組入上位銘柄

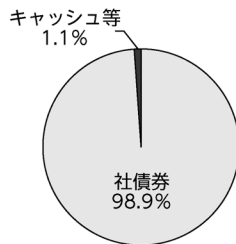
(組入銘柄数：25銘柄)

銘柄名	資産	国	通貨	比率(%)
AMERICAN AIRLINES GROUP	社債券	米国	米ドル	5.2
CENTURYLINK INC	社債券	米国	米ドル	5.1
AT&T INC	社債券	米国	米ドル	5.1
DISH DBS CORP	社債券	米国	米ドル	5.0
D.R. HORTON INC	社債券	米国	米ドル	5.0
CVS HEALTH CORP	社債券	米国	米ドル	5.0
DISCOVERY COMMUNICATIONS	社債券	米国	米ドル	5.0
VERIZON COMMUNICATIONS	社債券	米国	米ドル	5.0
ABBVIE INC	社債券	米国	米ドル	5.0
ALLERGAN FUNDING SCS	社債券	ルクセンブルク	米ドル	5.0

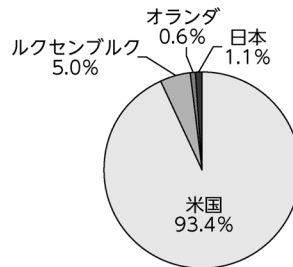
※比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

※詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

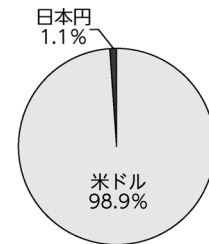
#### ●資産別配分



#### ●国別配分



#### ●通貨別配分



※比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

### 純資産等

項目	第16期末	第17期末
	2019年8月20日	2019年11月20日
純資産総額	4,399,867,364円	4,394,895,534円
受益権総口数	4,828,067,398口	4,725,082,617口
1万口当たり基準価額	9,113円	9,301円

※当作成期間（第16期～第17期）中における解約元本額は216,064,558円です。